令和8年度　北斗病院　病院勤務医負担軽減計画

目的

当院では、従来より勤務医の勤務状況を把握し、改善すべき点は、各診療科と協働により対応してきたが勤務医の負担軽減を進めるためには、コメディカルを含めた各部の協力体制が必要であることから、平成20年度より医政局の役割分担通知に基づき、医師が担っていた業務等の他職種への分担を進めており、今回もこれを継続することを目標とする。また、病院内すべてで宿日直許可を取得済みでA水準を維持する。

負担軽減項目	取組条件	取組項目	全体的な取組目標
医師・看護師等の役割分担	必須	国の通知に基づき、院内における各職種間の業務分担の適正化を図る	各職種間の業務分担の状況の確認、引き続き適正化を図る
医師に対する医師事務作業補助体制	必須	医師事務作業補助者の配置	医師事務作業補助者体制加算20:1の継続的な取得、医師事務作業補助者16名以上の配置。また、所定の32時間新人研修を行い、新たな医師事務補助者を創出し業務拡大を図る
電子カルテ化	任意	電子カルテ・オーダリングシステムの活用と更なる効率化の検証	電子カルテシステムを利用することで、医療の効率化・電子化等を推進するとともに、業務負担軽減等を図る
	任意	医療用画像のフィルムレス化(医療用画像のデジタル化)	X線フィルム等医療用画像資料をデジタル化することで、業務の効率化及び業務負担軽減等を図る
医師の勤務体制等に係る取組み	必須	勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施	次月の勤務計画作成時に連続当直が行われないよう管理
	必須	当直翌日の業務内容に対する配慮	次月の勤務計画作成時に当直翌日の外来診療や手術を行わない配慮
	必須	短時間雇用の実施	多様なニーズに対応すべく短時間勤務や非常勤勤務の導入継続
	必須	勤怠システム導入	ICカードによる打刻にて出退勤の管理・時間外労働時間の把握
	必須	リフレッシュ休暇の付与(年次有給休暇と別枠の休暇)	休暇促進に向けて取得率を向上する取組みの検討
	必須	宿日直許可取得済み	脳外科救急、一般救急、整形外科救急、臨床研修医の宿日直許可取得による労働環境の軽減

令和8年度　北斗病院　病院勤務医負担軽減計画

（医師／医療関係職種・事務職員等の役割分担の詳細）

役割分担職種	取組項目	全体的な取組目標
事務職員等	診断書、診療録、処方箋の作成補助の実施	メディカル・アシスタントが作成補助を担当する運用を継続
	主治医意見書の作成補助の実施	メディカル・アシスタントが作成補助を担当する運用を継続
	診察・検査予約作業補助の実施	一部の外来において、メディカル・アシスタントを配置し、補助業務を実施する運用を継続
	研修資料等の用意・準備について補助の実施	各種データの整備やレジュメの作成等につき医師の指示の下に事務員が対応を実施している
	同意書記入に際しての説明の実施	外来、入院病棟において、担当者を配置し、運用を継続
看護職員	薬剤の投与量の調節	事前の医師の指示に基づき、指示の範囲内での投与量調節を行う
	静脈注射の実施	医師の指示に基づき、静脈注射及び留置針によるルート確保を行う
	患者・家族への説明	患者、家族との十分な意思疎通を図るため看護職員より、面談による情報収集、補足説明や療養に関する説明等を行う
臨床検査技師	採血の実施、検査についての説明	採血業務、検査結果について、臨床検査技師の支援拡大の検討
薬剤師	薬剤の管理(在庫、与薬等準備)	薬剤の管理に関して、薬剤師を主とした物流管理を実施する
	病棟担当の薬剤師の配置	服薬計画を医師に提案するとともに患者・家族への医薬品安全管理についての説明対応を継続
臨床工学技士	医療機器のメンテナンス、管理	院内の医療機器管理について臨床工学技士の管理を継続